



# 滋賀短期大学 学報

2025. 7. 1

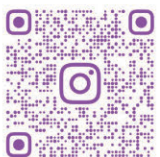
No. 93

## CONTENTS

- [理事長・学長メッセージ/P2]
- [特集1 /地域連携センター、活動報告/P3]
- [令和6年度卒業式、令和7年度入学式、学長懇談会/P4]
- [令和7年度フレッシュマンセミナー/P5]
- [活躍する卒業生/P6~7]
- [特集2 /滋賀短期大学 3つのサポートセンター/P8]
- [新任教員・退職教員ごあいさつ/P9]
- [学生自治会、強化クラブの活動/P10]
- [同窓会だより、後援会の活動/P11]
- [令和6年度教育研究・社会活動/P12~P13]
- [卒業生就職状況、ホームカミングデー/P14]
- [令和6年度決算・財務状況報告/P15]
- [私の青春時代、学内情報/P16]



滋賀短期大学 公式  
インスタグラム



SHIGATAN1978

滋賀短期大学学報  
読者アンケート



抽選で  
「滋賀短期大学グッズ」  
が当たる!

表紙は、令和7年4月にリニューアルした「OA教室」(記事P16)。



# 滋賀短期大学

〒520-0803 大津市竜が丘24-4 滋賀短期大学 図書委員会  
電話(077)524-3605  
ホームページアドレス <https://www.sumire.ac.jp/tandai/>

# 短期大学の価値を みなおすために(1)

純美禮学園理事長  
滋賀短期大学学長

秋山 元秀



いま短期大学がメディアで取り上げられることが増えています。つい先日、5月2日NHK長野（地方ニュースとしてこちらでも放映）で長野県の上田短期大学（2025年4月上田女子短期大学から改称）の幼児教育学科を例にして、入学者の減少に苦しむ実態を報道していました<sup>1)</sup>。その少し前、4月3日には朝日新聞が1面トップで「短大の閉校 加速—短大苦境 細る地方の学び—」という長文の記事を掲載しました。

確かに短期大学が昭和25年に学制の一形態として認められてからはどんどん校数を増やし、平成8年のピーク時には短大（国立・公立・私立合わせて）が598校もあり、その前後には全国の短大生は総数53万人を数えていました。当初は四年制大学より校数の上でも学生数でもまさっていましたが、このころから逆転されています。

現在（令和6年5月）は短大の数が297に対して四大は813、学生数は短大が7万4千人に対して四大は262万8千人と、その差が大きく開いています。専門学校（専修学校専門課程）の生徒も55万8千人ですから、短期大学がいかにか高校生の進学先としてマイナーになっているかがわかってと思います。このような状況の中で、募集停止を決断する短期大学が急速に増えています。先に紹介した朝日新聞でも触れられていますが、令和6年度から令和9年まで募集停止をする短大が50校判明しています。

本学でこの趨勢をみても、設立当初の昭和45年から10年経った昭和55年には、服飾学科と幼児教育学科の2学科で674名の在校生がおり、次いで服飾学科が生活学科になり、秘書科が増設されている平成3年には在校生がはじめて800名を越えましたが、その後平成6年に923名（収容定員は700名）を数えたのをピークに減少

を始めます。しかし減少はするもののその後平成28年くらいまでは600～700名を維持していましたが、徐々に500名台になり令和5年度からは400名台に減少してゆきます。それに合わせて入学定員も減らし、今年度は入学定員を230としたにもかかわらず、172名しか入学生が得られませんでした。

それでは短期大学という学びのかたちは存在意義を失ってしまったのでしょうか。私は決してそのようなことはないと考えています。しかし願望だけではなく、具体的にどのような方策があるのでしょうか。今年の2月に中央教育審議会から出された『我が国の「知の総和」向上の未来像～高等教育システムの再構築～』という答申には短期大学の役割について次のように書かれています。

短期大学は…小規模できめ細かい教育の実施、地域コミュニティに密着したアクセスのしやすさなどの特徴を有した機関であり…各地方公共団体、地域の産業界等との連携を強めながら地域コミュニティの基盤となる人材を養成している…学修期間が短期であることや各地域で身近にある機関としての強みを生かしつつ、ファーストステージとして容易にアクセスできる高等教育機関として、各短期大学の特性に応じ…多様な学生が学ぶ環境を整えていくことが期待される<sup>2)</sup>。

基本的にはこのような記述になるのですが、では滋賀短が実現できるものとしてどんなことが考えられるでしょうか。これについて現在、短大でも法人でも検討を進めています。それは次回に詳しくお伝えしたいと思います。

1) <https://www3.nhk.or.jp/lnews/nagano/20250502/1010034705.html>

2) 同答申p51より。

## “地域とともに” ～地域連携センター 新たなスタート～

大正7年に松村裁縫促進教授所が設立されて以来、ここ大津の地とともに歩んできた純美禮学園。昭和45年に開学した滋賀短期大学は、滋賀県内の幼児教育分野や食分野をはじめ様々な産業界へ多くの人材を輩出してきました。昭和62年、「開かれた大学」をめざすべく、公開講座を開き、以降様々なテーマで継続しています。平成24年には地域連携教育研究センターが発足し、教員による大津市の図書館での市民向け講座開催や竜王町の道の駅との連携（地元の食材を使ったレシピを考案と売店で販売）等を行ってきました。また、守山に開設した附属すみれ保育園においての地域の保育士の研修や、滋賀医科大学との連携市民公開講座・守山すみれ講座等の市民向けの講座の開催などの活動もおこなってまいりました。

これらの活動が、コロナ禍において一旦中断を余儀なくされましたが、このことが地域との連携の大切さを改めて感じる機会ともなりました。

今、短期大学においては「教養教育と専門教育の体系的な教育課程編成、小規模できめ細かい教育の実施」とともに「地域コミュニティに密着したアクセスのしやすさなどの特長」を生かした教育を行うこと、また「地方公共団体、地域の産業界等との連携を強めながら地域コミュニティの基盤となる人材を養成」することが求められています。（中央教育審議会答申）

本学にとっての地域連携は、これまでの資源提供型だけではなく、地域コミュニティをつくる構成員の一員として、地域とともに相互に学び合い、高め合い学生・教職員が大学として丸となって地域と関わるのが重要だといえます。

そこで、令和7年4月より、地域連携・教育研究センターは地域連携センターとして新しくスタートいたしました。

現在、滋賀県・大津市との連携に加えて、草津市や長浜市、高島市などをはじめとした滋賀県市町との連携を進めているところです。

地域連携センターとして、これまで以上に地域に密着した、地域とともに課題解決に取り組む組織としてスタートいたします。滋賀短の新しい風を皆さまと一緒に吹かせたいと願っております。アイデア、提案、ニーズなどありましたら、どしどしお寄せください。

地域とともに、皆さまとともに進む地域連携センターです。

どうぞ末永くよろしく願いいたします。

### 活動報告

## 国スポ Otsu Dream Festival へ 参加しました

2025年4月20日（日）、大津湖岸なぎさ公園周辺で開催された「わたSHIGA輝く国スポ・障スポ」に向けたPRイベントOtsu Dream Festival に滋賀短期大学も参加いたしました。

食健康コースが、YouTuber リュウジさんのアスリート飯ライブキッチンに協力。一方、イベントブースでの「こいのぼりづくり」ワークショップは、行列ができるほどの賑わいで250人もの子どもたちが参加。本学の学生ボランティアと教員が子どもたちと楽しく作業を進め、季節感を演出しながらイベントを盛り上げました。会場は一足早い子どもたちのこいのぼりで溢れました。

【今後の予定】 滋賀短期大学ホームページでご確認ください

- 守山すみれ講座 ● 公開講座 ● 守山子育て支援員研修
- 理系人材育成体験プログラム 小・中学生のためのデジタル体験講座等



## 令和6年度卒業式・卒業記念パーティー

令和6年度の卒業式が本学体育館を会場に3月14日に執り行われ、生活学科48名、幼児教育保育学科70名、ビジネスコミュニケーション学科51名、デジタルライフビジネス学科24名の総勢193名の学生が本学を巣立っていきました。毎朝、膳所駅からの坂道を歩き、振り返ると琵琶湖が

一望できる、そんな滋賀短期大学での学びと思い出を胸に、4月からの社会人としての第一歩を、また4年制大学に編入した学生は、新たな学生生活の第一歩を踏み出してくれることと期待します。

卒業式後、学生自治会が主催する卒業記念パーティーがびわ湖大津プリンスホテルで催され、お世話になった先生方との別れを惜しんでいる姿や、晴れやかな笑顔で写真を撮りあっている姿がありました。



## 令和7年度入学式・フレッシュマンセミナー

ここ数年、大津市民会館大ホールを会場としてきた入学式ですが、今年度は本学体育館に会場を戻して4月2日に執り行われました。4学科から新たな2学科体制で行う、初めての入学式となりました。新たに設けられたデジタルライフビジネス学科は、食健康コース36名、製菓マイスターコース22名、総合医療事務コース23名、デジタルビジネスコース38名の計119名。幼児教育保育学科は55名。総勢174名の新入生を迎えての新たな門出となりました。

4月4日には、びわ湖大津プリンスホテルを会場に毎年恒例のフレッシュマンセミナーが開催され、建学の精神の講話や、学科・コースごとの交流会も開催され、今後の大学生活に期待が持てるいい機会になったのではないかと思います。



## 学生と学長との懇談会

毎年5月から6月にかけて行っている懇談会です。今年度から新しく2学科体制になり、計4回にわたり、毎回1・2回生あわせて10名程度の学生が参加して開催されました。お昼休みにスターバックスで購入してきた軽食をとりながら、和やかな雰囲気の中で学生からの忌憚のない意見や要望、授業を含む日頃の学生生活の様子など、様々な話を聴くことができました。この懇談会は、学生にとっては日頃あまり接することのない学長と直接対話ができる貴重な機会であり、学校としても学生目線での意見や要望などを聴くことのできる貴重な機会となっています。緊張がほぐれるにつれ、学生から様々な意見が出てくる、非常に意義のある懇談会が開催できました。



## 令和7年度フレッシュマンセミナー

4月4日（金）、びわ湖大津プリンスホテルにて新入生対象のフレッシュマンセミナーを開催しました。前半は学生自治会によるクラブ・サークル紹介やテーブルマナー講習を受けながらのフランス料理の会食、後半は学科ごとにキャリアセミナーを実施しました。緊張の面持ちで始まりましたが、終盤にはずいぶん打ち解けた雰囲気になりました。

### 幼児教育保育学科

幼児教育保育学科 准教授 松村 都子

#### 「ともに…はじめての一步」

幼児教育保育学科では、2年生有志サポーター達が、入学した1年生が学ぶ仲間としてつながり、よいスタートを踏み出してくれることを願って、工夫したプログラムを準備してくれました。おかげで、終始、和やかで活気のあるセミナーとなりました。園の子ども達が楽しむ遊びを何種類も紹介してくれる中で、体を動かし声を出していると、いつの間にか1年生の緊張がほぐれ笑い声が広がっていきました。「遊び」が心を開放し、人を繋げていくことを実感できたことと思います。1年生にとって、これからの幼児教育・保育の学びにつながるよい経験となったセミナーとなりました。

終盤の「3匹のヤギのがらがらどん」の劇を鑑賞する頃には、「先輩、すごいなあ!」「1年後はこんなふうになれるかな」と、1年後の自分に期待をもつ言葉も聞かれ、まさに「ともに…はじめての一步」にふさわしいセミナーになりました。さあ、学びの扉が開きました。ともに、学びを始めましょう!



### デジタルライフビジネス学科A

食健康コース・製菓マイスターコース 助教 白木 理恵

#### 食健康コース・製菓マイスターコースのキャリアセミナー

食健康コース・製菓マイスターコースは合同で令和7年4月4日にびわ湖大津プリンスホテルでキャリアセミナーを実施しました。セミナー前にアイスブレイクとして、ジェスチャーだけで誕生日月順に並び、その後グループごとに分かれて簡単なゲームも行いました。これからともに過ごす仲間や教職員と一緒に笑い、話し、距離が縮まったように思いました。

セミナー内容は先輩に学ぶです。助手の高畑千尋さん（栄養士）と堀口真美さん（製菓衛生師）に登壇していただき、自己紹介、短期大学在学中に取り組んだこと、卒業後の職歴・仕事内容などについて話をしてもらいました。クラスごとに話合いの時間を設けて質問を考えてもらい、各クラスの代表者がお2人に質問をして、それに答えていただきました。短期大学2年間をどのように過ごしていくのか、卒業後の進路について考えるよい機会となりました。



### デジタルライフビジネス学科B

総合医療事務コース・デジタルビジネスコース 教授 田中 裕之

#### 学科コースの装い新たに

新入生同士の親睦を深め、円滑に学生生活をスタートさせることを目的としたこのセミナー。受講科目が重なることの多い、総合医療事務コースとデジタルビジネスコースは合同でセミナーを行いました。まずは名刺交換の練習から。作法やマナーについて一通りの説明を聞いた後はすぐに実践。交換回数を重ねるごとに徐々に緊張もほぐれ、学びのコースを超えてお互いに自己紹介し合う姿が見られました。

続いてオフィス用品のピングゲーム。コースごとのチームに分かれ、オフィスで使われる文具や機器を挙げていき、その後、優先順位を話し合いながらカードに記入。司会者が、最後に、コースの担当教員のある日の活動に沿って文具や機器の名称を読み上げていきました。結果が分かる度に学生達は一喜一憂。ゲームを楽しんでもらいながら、コースを担当する教員の専門分野も紹介出来ました。

このセミナーでは、学生同士はもちろん教員とも親睦を深める良い機会となり、セミナー後の学生の感想も上々。週明けから始まる学生生活が楽しみであるとの声が多く寄せられました。



# 幼児教育保育学科

## ◆日々の表情や表現を 子どもたちとわかちあっています!

令和7年3月卒業生  
泉 真惟子さん(東近江市立蒲生幼稚園)

令和7年3月に滋賀短期大学を卒業し、今は東近江市で公務員として保育教諭をしています。3歳児を担当しており、新入園の子どもに新任の私で手探りな部分もありますが、子どもと一緒に楽しみながら成長する毎日を過ごしております。保育教諭になって、日々表情や表現が豊かになったり、できることが増えていく子どもを一番近くで保育できることにとても喜びを感じています。在学中に学んだことを現場でたくさん発揮できるように、これからも楽しみながらがんばって保育の仕事をしていきたいと思います。



## ◆子どもの成長にパワーをもらい、 やり甲斐を強く感じています!

令和7年3月卒業生  
田中 あみさん(彦根市・金城こども園)

令和6年度に滋賀短期大学を卒業し、今はこども園(3歳児担任)で働いています。仕事はとて大変ですが、子ども達の笑顔や話しかけてくる姿にパワーをもらってがんばっています。少しずつ子ども達のできるようになったことや成長した姿が見られるようになって、やり甲斐を感じる仕事だなと強く感じています。これからたくさんの事を経験して学び、在学中に学んできたことを活かしながら、子ども達と一緒に笑顔で過ごしていきたいなと思います。



# 生活学科

## ◆子ども達と食をつなぐ

食健康コース 令和2年3月卒業生  
尾上 晴菜さん(大將軍ひかりこども園勤務)

当園で栄養士として働き始めて、今年で5年目になります。毎日、給食やおやつ作りの他に、献立や食育だよりの作成、食育活動を積極的に行っています。献立を作成する際には、旬の食材を使ったり、ひなまつりや七夕などの行事食を取り入れて、季節感や食文化を感じられるように工夫しています。また、園児からのリクエストメニューを誕生月に取り入れれたり、オリジナルメニューを考案したりと、子ども達が食に興味を持ち、食事の時間を楽しめるような工夫もしています。食育活動では、子どもたちが楽しく食について学べるような内容を心がけて話をしています。当園の調理室は、カウンターがガラス戸になっているので、子ども達からは調理室の様子が見えます。毎朝、「おはよう!」「今日のご飯なに?」と元気に話しかけてくれる子ども達とのコミュニケーションは、私にとってかけがえのない時間になっています。



働き始めた当初は、不慣れなことばかりで苦労もありましたが、大学で学んだ知識やこれまでの経験が活かせるようになり、今は仕事に大きなやりがいを感じています。子どもたちが笑顔でいられるように、安全で安心できる美味しい給食を提供することを第一に考え、日々励んでいます。単に食事を提供するだけでなく、食への関心や健全な食習慣を育むことも大切にしています。これからも、食を通じて子どもたちの健やかな成長を支えられる栄養士を目指して、日々精進していきます。

## デジタルライフビジネス学科

### ◆学生時代に学んだ事を 生かせることがやりがい

令和7年3月卒業生  
長谷川 美羽さん（西和不動産株式会社勤務）

私は現在、西和不動産株式会社のマーケティング部に所属し、HPの運営やチラシやポスターなどの広告作成、モデルハウスの写真撮影といったデジタルデザイン業務を担当しています。日々新しい知識を得る機会が多いですが、短大時代に習得したさまざまな知識を仕事に生かせることにやりがいを感じています。これからも自分の人生をより良いものにし、社会に貢献できる立派な人材になるために、成長し続けていきたいと思っています。



### ◆社会を支えるシステム。難しい研修でも、 滋賀短期大学の学びが生きています。

令和7年3月卒業生  
久保田 大智さん（日本情報産業株式会社勤務）

私は現在、日本情報産業株式会社で新入社員研修を受けています。4月からの3ヶ月間、東京本社で研修を受け、西日本支社での勤務に向けて日々学んでいます。

西日本支社ではシステム開発を担当し、さまざまな企業の基幹システムを構築します。

自分が手がけるシステムが社会の基盤となることに、大きなやりがいを感じています。

新入社員研修では専門的な知識を身につけるとともに、基本情報技術者の資格取得も目指しており、内容は非常に高度です。

しかし、滋賀短期大学で培った基礎知識のおかげで、難しい研修内容も理解しながら進めることができています。



## ビジネスコミュニケーション学科

### ◆新潟から滋賀に広がる挑戦

令和2年3月卒業生  
久保 陽菜乃さん（ラメリストア勤務）

短期大学卒業後、新潟県燕市で地域おこし協力隊として3年間活動しました。マラソン大会やスポーツ教室の運営、市内外への情報発信などに取り組み、行政の中で働く経験や、県外からの移住者として地域と関わる貴重な体験ができました。

現在は滋賀県大津市本堅田にある「ラメリストア」で、接客や店舗管理、企画運営など幅広い業務に携わっています。びわ湖のすぐそばにあるリゾート感あふれるカフェで、地元の方はもちろん、観光やサイクリングで訪れる方にも楽しんでいただける場所です。



また、店のシンボルでもある7人乗りのトゥクトゥクを使ったレンタカーサービスもスタートし、アトラクション感覚で非日常を味わっていただけます。今後も新たな企画がいろいろと動き出しており、毎日が挑戦と発見の連続です。

学生時代には想像もしていなかった今の自分ですが、これまでの経験や人とのつながりが一つひとつ“引き出し”となり、自分を支えてくれています。これからもその引き出しを増やししながら、日々を大切に過ごしていきたいと思っています。



# 滋賀短期大学 3センターの学生サポート

## —入学から卒業後まで—

### キャリア・サポートセンター

キャリア支援課長 八代 茂裕



キャリア・サポートセンターは、教員4名、職員3名体制で業務にあたり、そのうち職員2名は国家資格キャリアコンサルタントを有します。本年度より、全教員とセンター間での学生情報の共有、学生への求人やインターンシップ情報のリアルタイムな提供、進路情報の集約など、支援業務を円滑に進めるため、クラウドサービスを導入しDX化を推進しました。さらに、本年度より、キャリア基礎・デザイン演習の授業内容に就職支援的な内容を組み込みました。この科目では、社会で求められる汎用的な力を客観的に測定するテストであるPROG®テストに基づいた自己分析セミナーや、就職活動における生成AIの安全かつ効果的な利用のガイダンスなど、多彩かつ実践的な講義を行っています。



このようにDX化やサポート体制強化を進めつつ、従来から引き続き、学生一人ひとりの個性と適性を見極めたカウンセリングや履歴書の添削、面接練習など、きめ細かなサポートをしております。また、地域企業とのパイプを活かした求人開拓、資格取得支援講座や公務員模擬試験などを実施しています。このように、教職員が一丸となったサポートで、保護者の皆さまと大学が一体となって学生の自立を目指し、支えてまいります。より一層のご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

〈お問い合わせ先〉滋賀短期大学キャリア支援課 Tel:077-524-3644 FAX:077-523-5124 メールアドレス:tsyusyoku@sumire.ac.jp

### キャンパスライフ・サポートセンター

学生支援課（保健室） 安井 綾子



キャンパスライフ・サポートセンターは、玄関ホール左側の扉を開けた部屋にあります。センターでは、各種奨学金の案内や学生自治会、クラブやサークルといった課外活動のサポートはもちろん、勉強や心と身体の健康に関することも含めた困りごとや悩みについて相談ができる学生相談室を併設しています。つまり、センターは“なんでも相談窓口”です。専門の資格を持ったカウンセラーも勤務しており、週に3日（月・水・金曜日11～17時）、困っていることや悩みをカウンセラーにゆっくり聞いてもらうことができます。充実した学生生活を送れるよう、学生の皆さんは困ったことや悩みがあれば気軽にセンターを訪ねてください。

### ラーニング・サポートセンター

ラーニング・サポートセンター長 江見 和明

ラーニング・サポートセンターは、3号館1階の入り口すぐのところにあります。2学科の教員が、授業内容やレポートに関する質問はもちろん、資格のための勉強や、公務員試験、履歴書作成、面接・集団討論対策などの就職関係の勉強など幅広い分野でみなさんの学びをサポートしています。教職員がいないときでも自由にセンターを利用いただくことができます。自習室として気軽にご利用ください。PC専門サポーターも常駐しておりますので、パソコンの設定、Word、Excel、PowerPointなどについても聞いてください。



私たち教員は、勉強を通じて、みなさんに学ぶことの楽しさを知っていただきたいと思っています。学ぶことは、皆さん自身の成長につながります。そして皆さんは、将来誰かの役に立ち、世の中をより素晴らしいものにすることができます。一緒に、がんばりましょう。

## 新任教員 ごあいさつ



### 保育者になる夢を現実に!!

幼児教育保育学科 准教授 鶴川 陽子

今年度より、ご縁をいただき幼児教育保育学科に着任いたしました。保育者は、子どもが何かを見つけた瞬間のキラキラしたまなざしを一番近くで目にし、言葉を交わすまでもなくその目の輝きだけで子どもの心の鼓動までも感じられる職業です。学生の皆さんの保育者になる夢を叶えるための学びをサポートしていきたいと思ひます。



### デジタル時代に向かって!

デジタルライフビジネス学科 特任講師 松本 善樹

今年より、デジタルライフビジネス学科に着任しました。ビジネスの世界では、ソフトウェア開発を中心にデータエンジニアリングの業務に携わってきました。社会人で大学院に行き自分の興味のある分野を学んできました。学ぶということを楽しみと思いながら、みなさんと一緒に学んでいきたいと思ひます。どうぞよろしくお祈りいたします。



### 共に成長出来るように

デジタルライフビジネス学科 特任助手 高畑 千尋

この滋賀短期大学を卒業後、委託の栄養士として働き、今年度から食健康コースの助手に着任いたしました。学生の皆さんのサポートがしっかりと出来るように精進いたします。よろしくお祈りいたします。

## 退職教員 ごあいさつ

### 退職にあたり

幼児教育保育学科 特別教授 深尾 秀一

在職中のことを振り返れば、まず様々な学生さんの顔が浮かんできます。「教員として人として、学生の皆さんのお役に少しでも立つことができたのかな?」と反省しつつ、楽しかった日々を今は振り返っています。またその日々は私にとっては、多くのことを学ばせていただいた時間でもありました。教職員の皆様方に心より感謝申し上げます。

最後になりましたが、滋賀短期大学のさらなるご発展と教職員皆様のご健勝とご活躍を心よりお祈り申し上げます。

### 14年間お世話になりました

ビジネスコミュニケーション学科 特別教授 小山内 幸治

2011年4月に本学に赴任して以来14年間、大変お世話になりました。滋賀短大は、学生が素直でまじめな学生が多く、教職員の皆様も熱心に指導されており、他大学に比べて非常に優れていると感じてきました。要職も経験させていただき、多くのご協力のもと職務を全うできました。コロナ禍での遠隔授業対応や新学科の立ち上げなど、貴重な経験を重ね、自身の成長にもつながりました。新生の滋賀短大が、日本の短大の雄になることを祈っております。私も新たな職場で全力で頑張ります。皆様、長い間、ありがとうございました。

### さらなる発展を期待

生活学科 特別教授 清水 まゆみ

滋賀短期大学でお世話になった14年間、皆さんに支えられて教員生活を送ることができ、ありがとうございました。特に新型コロナウイルスが蔓延した時期は対面授業ができなくなりました。授業の資料を郵送したり、オンラインで授業することになり、学生の皆さんにはご負担をおかけしました。ですが、これによってデジタル化が進んだことも事実です。世界的にデジタル化が進んでいる中、滋賀短期大学はこれに合わせて今年度より学科の再編成が行われました。今後もさらに発展することを期待しています。

### 退職のごあいさつ

幼児教育保育学科 教授 久米 央也

小学校教員を34年間勤めた後、ご縁があって本学でお世話になりました。様々な悩みを持ちながらも保育者を目指し懸命に頑張る学生たちと関わり、教えるどころか、その笑顔に元気と勇気をもらいました。学生と共に悩み共に考え、サポートしてきた日々は忘れることができません。

また、まわりの先生方にも支えられ、8年間を乗り越えられたことも大変感謝しております。本当にありがとうございました。

最後に、学園の発展と皆様のみますますのご活躍をお祈り申し上げます。

### 感謝の気持ちを込めて

ビジネスコミュニケーション学科 特別准教授 若生 真理子

8年前思わぬご縁から滋賀短期大学の教員として新たな一歩を踏み出すことになりました。新卒で働いた総合会社では6年間という短い期間でしたが、仕事における人間関係の重要性を痛感しました。その経験をいかしつつ、明るく素直な学生に元気をもらい、教職員の皆さまに支えられながら教鞭をとることができ、私の人生にとってかけがえのない充実した8年間となりました。このような機会をいただいたことに心より感謝申し上げます。

最後に滋賀短期大学のさらなるご発展と皆さまのご活躍をお祈り申し上げます。ありがとうございました。

### 退職のごあいさつ

生活学科 特任助手 岡田 香織

生活学科の助手として計7年間お世話になりました。あまりにも未熟だった1年目を思い返して懐かしく感じております。教職員の皆様のご指導と学生たちの笑顔に支えられ、助手という仕事を楽しく終えることが出来ました。悩み苦労した時間も学生と過ごした時間も良い思い出となり今を頑張る糧となっています。ありがとうございました。最後になりましたが、滋賀短期大学のさらなる発展とご活躍を心よりお祈り申し上げます。

# 学生自治会について

## 学生自治会の活動報告

学生自治会 会長 小森 美耶(幼児教育保育学科 2回生)

学生自治会執行部は、学生生活を充実したものにするため現在2回生14名で活動しており、1回生の仲間を迎えられる日を楽しみにしています。

ここでは、主催した活動を時系列で振り返ってみます。

昨年11月に開催した純美禮祭は、有志によるダンスやバンド演奏をはじめ、ゲストとして本学附属高校吹奏楽部やシンガーソングライターのとたさん、吉本興業のアキナさんをお迎えし、盛況のうちに終えることができました。学外から来られた方に楽しんでいただけたことはもちろん、学生からも事前準備を含めとても充実していたとの感想をもらい、大成功であったと感じています。

3月の卒業記念パーティーは昨年度同様に立食形式で行い、ビンゴ大会もあって充実したものとなりました。滋賀短学生として参加できる最後の行事であるので、学生最後の日を楽しんで迎えられる大成功だったと感じています。今年度も卒業生の思い出に残る、いいものになりたいと考えています。

今年度、4月に開催したボウリング大会は、1・2回生合わせて30名の学生と教職員の参加がありました。「学科を超えた交流」をテーマに学科混合のチームをつくり、和気藹々とした雰囲気の中で楽しむことができました。

5月開催の学生総会では、前年度の活動や自治会費の収支決算を報告し、今年度の行事予定や予算を無事に承認していただくことができました。

そして、新企画として6月にスポーツフェスを予定しています。現在、コロナ禍前まで実施していた体育大会の資料を見ながら、成功に向けて準備を進めています。学報がお手元に届く頃には、これからも続いていくイベントとして記憶に残っていることを祈っています。

学生自治会は、これからも学生生活を充実したものとするため積極的に活動をしていきます。今後の学生自治会にご注目ください。



# 強化クラブについて

## 【ソフトテニス部の活動】

ソフトテニス部 主将 佐藤 倫美(幼児教育保育学科 2回生)

私たち女子ソフトテニス部は、現在9人で活動しており、関西学生リーグ3部に所属しています。和気あいあいとした雰囲気の中で、仲間とともに日々練習に励み、2部昇格を目指して切磋琢磨しています。

私たちは、言われてやるのではなく、自ら考え、進んで行動する姿勢を大切にしています。日々の練習を積み重ね、チーム一丸となって1つでも多くの勝利を掴み取れるよう、全力で取り組んでまいります。今後とも、温かいご声援をよろしくお願いいたします。



## 【バレーボール部の活動】

バレーボール部 主将 黒塚 凪(生活学科 2回生)

1回生9名が新たに加わり、2回生4名あわせて13名で活動しています。部員が増えたことでゲーム形式の練習もできるようになり、関西大学リーグ3部昇格を目指して日々練習しています。心とボールをつなぐ滋賀タンらしい楽しいバレーで上位をめざします。リーグ戦、西日本インカレの他、滋賀県6人制バレーボール総合男女選手権大会、天皇皇后杯滋賀県予選などの県内の大会にも出場しますので、応援しに来てください。



## 【新入会員のお知らせ】

令和7年3月14日(金)第54回卒業証書授与式に続き、同窓会入会式が行われました。副会長より年次評議員代表の曾我 望愛さんに委嘱状が渡されました。

### 〈令和6年度 新入会員〉

生活学科 …………… 48名  
 幼児教育保育学科 …………… 70名  
 ビジネスコミュニケーション学科 …………… 51名  
 デジタルライフビジネス学科 …………… 24名

計 193名



### 〈年次評議員〉

生活学科 …………… 藤野 麻奈美さん、照屋 秀宇さん  
 幼児教育保育学科 …………… 永田 灯さん、永田 千尋さん  
 ビジネスコミュニケーション学科 …… 岩崎 健太さん、曾我 望愛さん  
 デジタルライフビジネス学科 …… 久保田 大智さん、千田 柊哉さん

### 〈評議員〉

ビジネスコミュニケーション学科 …… 曾我 望愛さん

## 【令和7年度 同窓会総会・懇談会について】

平素は同窓会活動にご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。今年も会員の皆さまにお集まりいただき、開催させていただく予定です。どうぞお誘い合わせのうえ、是非御出席くださいますようお願いいたします。スタッフ一同、心よりお待ちしております。

〔日 時〕 令和7年9月7日(日)  
 〔日 程〕 ○総会 ・令和6年度事業報告及び会計監査報告  
 ・令和7年度事業計画及び予算案  
 ・その他

- 製菓実習(エプロン・三角巾・マスク)
- 懇談会

〔参加費〕 1,000円

〔申込み〕 令和7年8月15日(金)までに同封の葉書もしくはQRコードからお申込みください。



## 【同窓会設立55周年記念式典の開催について】

コロナ禍で当初予定しておりました、同窓会設立50周年記念式典の開催が延期となりさみしい思いがありました。来年9月に同窓会設立55周年記念式典を迎える予定となり、スタッフ一同準備を重ねております。たくさん卒業生のみなさまに短大時代を思い出し、楽しい時を過ごせる式典になるよう願っております。

〔日 時〕 令和8年9月6日(日) 10時～16時  
 〔会 場〕 大津プリンスホテル コンベンションホール淡海  
 〔内 容〕 ○総会

- 懇親会
- アトラクション ジャグリングショー 木下 洗希さん  
(本学ビジネスコミュニケーション学科卒業生)
- ゲスト出演 歌手の木山 裕策さん  
・NHK紅白歌合戦出場  
 ・代表曲 / home  
 ・「千鳥の鬼レンチャン」に出演された細魚さんです。  
 ＊ゲストにつきましては、変更する場合があります。

〔参加費〕 8,000円

〔申込み〕 令和8年7月31日(金)までにQRコードからお申込みください。



同窓会では、卒業後も同窓生の繋がりをサポートできる会でありたいと思います。

またご意見、ご要望がありましたら、滋賀短期大学同窓会担当までご連絡ください。連絡先(077-524-3605)

## 後援会の活動について

6月7日(土)に教育後援会総会が開催されました。当日は教育懇談会も行われ、多くの保護者の方が参加されました。総会において、本年度の滋賀短期大学後援会役員及び委員が選出されましたのでご報告させていただきます。本年度の後援会活動をよろしく願いたします。

### 令和7年度 滋賀短期大学後援会委員名簿

役員名	氏名	回生	学科
会長	森川 晃子	2	幼児教育保育学科
副会長	小森 久美	2	幼児教育保育学科
監事	今井 佐織	2	幼児教育保育学科
	堀田千恵子	2	生活学科 製菓
副会長	藤田真由美	1	幼児教育保育学科
監事	名田百合子	1	幼児教育保育学科
	飯塚 愛歌	1	デジタルライフビジネス学科食健康
	青木 裕美	1	デジタルライフビジネス学科製菓
	岡崎久美子	1	デジタルライフビジネス学科製菓

# 令和6年度 教育研究・社会活動(2024年4月～2025年3月)

## 1) 著書

- 中平真由巳 ■(共)ベルズを知るための60章 明石書店 9月  
齋藤尚志 ■(共)『日本の教育』第73集 アドバンテージサーバー 6月

## 2) 本学研究成果第50号

- 北尾岳夫、深尾秀一、柚木たまみ ■(共)身体的活動を基盤とした造形・音楽の融合的表現の意義Ⅴー保育者養成課程の学生が抱く表現活動に対するイメージ  
松井典子 ■(単)未来の保育者を育む 高短連携プログラムにおけるピアノ実習科目の実証的検証  
佐々木 瞳 ■(単)障害のある幼児期の子どもの支援・指導におけるインクルージョンを志向する取り組みに関する検討  
小山内幸治 ■(共)高齢者の介護相談における経済的問題に関するケーススタディ  
小笠原寛夫 ■(共)無形民俗文化財のデジタルアーカイブ制作Ⅱー大津絵踊りの振付を三次元デジタルアーカイブで保存するー  
仲村恭子 ■(単)脱毛で悩む患者のための審美性の高い医療用帽子に関する研究ーモニターによる使用評価の観点からー

## 3) 学術論文

- 松井典子 ■(単)オーストラリアの音楽試験システムの構築とその背景に関する研究:19世紀末から20世紀初頭の社会変容との関連に着目して 公共と文化 5月  
松本善樹 ■(単)産業集積におけるリンケージ企業のイノベーション考察ー組織間関係論からのアプローチ 関西実践経営第65号  
■(単)産業集積内リンケージ企業について考察 星陵台論集 6月  
■(単)産業集積におけるリンケージ企業のイノベーションに関する研究ー組織間関係から見たイノベーションの背景ー(博士論文) 神戸商科学術情報館

## 4) 学会発表

- 菅 眞佐子 ■(共)一人一人の幼児がどのように探求を深めていくのか(Ⅱ)ー遊びの深まりを捉えながらー 日本保育学会第77回大会 5月  
■(共)A Comparative Analysis of Young Children from the U.S. and Japan Perception of Heroism Related to Their Concept of Heroes and Superheroes PECCERA Annual Conference 2024 Tokyo 8月  
江見和明 ■(単)調剤薬局企業によるコミュニティビジネスの展開ー甲賀いこい村暮らしモールの事例を中心としてー 日本消費経済学会全国大会 7月  
伊澤亮介 ■(単)Giáo dục tiếng Việt theo phương pháp Content-Based Instruction: Sự cần thiết của tài liệu giới thiệu văn hóa đặc trưng của Việt Nam (コンテンツベースの教育によるベトナム語教育:ベトナム独自の文化を紹介する教科書の必要性)  
Diễn đàn quốc tế: Giảng dạy tiếng Việt như một ngoại ngữ tại Việt Nam và nước ngoài Trường Đại học ngoại ngữ, ĐHQGHN (国際シンポジウム「ベトナム国内外における外国語としてのベトナム語の教授」 ハノイ国家大学、外国語大学 8月)  
■(単)字喃(チュノム)の形声字における義符と声符の位置関係について 日本漢字学会 第7回研究大会 12月

## 5) 演奏会・展覧会等

- 柚木たまみ ■フランス歌曲の流れを辿る 第8回「メシアンとその周辺」(京都フランス歌曲協会主催)京都府立府民ホール アルティ 10月  
■ミニレクチャーコンサート「モリス・ドラージュ その歌曲の世界」 奈良女子大学記念館 12月  
■柚木たまみソプラノリサイタル モーリス・ドラージュの音楽(第1回日本音楽表現学会助成コンサート採択公演)京都府立府民ホール アルティ 2月

- 小笠原寛夫 ■edge type [35°08'26.5"N 136°05'31.3"E](インスタレーション) かわらミュージアム 4月～3月  
■Re frame かわらミュージアム 4月～3月  
■八幡堀まつり2024(光のインスタレーション-ミズノモリ-) 酒遊館前、旧八幡郵便局前 10月  
■クリスマス光の道アドベント(ミズノオト) まちや倶楽部、アンドリュース記念館、近江八幡教会 12月

## 6) その他の発表

- 齋藤尚志 ■兵庫県教育研究会(ひょうご教育フェスティバル)第22分科会「小規模・少人数校の教育」基調報告 神戸市立山の手小学校 11月  
小笠原寛夫 ■2024年度共同利用・共同研究プロジェクト「真夜中のエピソード」 学校法人瓜生山学園 京都芸術大学 春秋座 2月

## 7) 国際的活動

- 中平真由巳 ■(単)スリランカ 米を中心とした食と暮らしの学び スリランカ カダハボラ 9月  
■(単)北インド 宗教と食、暮らしの学び インド ウッタラカンド州 9月  
■(単)ネパール 宗教と食、暮らしの学び ネパール ヘタウダ 3月  
柚木たまみ ■小林真理声楽マスタークラス受講(モニュスコ音楽祭) ポーランド クドヴァ 8月

## 8) 社会的活動

- 秋山元秀 ■草津市景観審議会会長 草津市 年間  
■滋賀県NIE推進協議会会長 滋賀県 年間  
■滋賀県第27回中学生広場「私の思い2024」審査委員長 滋賀県 8月  
白木理恵、中平真由巳、依田絵理、岡田香織、岩崎愛理 ■夏休み親子食育教室(大津市保健所との連携)滋賀短期大学里山教室、調理学実習室 7月  
依田絵理、岩崎愛理、岡田香織、中平真由巳 ■食育活動(みそ作り)の指導 滋賀短期大学附属すみれ保育園 1月  
中平真由巳、山岡ひとみ、白木理恵 ■わたSHIGA輝く国スポ・障スポ標準準立の提案 10月～3月  
山岡ひとみ、白木理恵、中平真由巳 ■わたSHIGA輝く国スポ・障スポ標準準立試食会 滋賀短期大学調理学実習室、試食室 3月  
中平真由巳 ■滋賀県栄養士会福祉事業部研修会 滋賀短期大学調理学実習室 1月  
■滋賀県びわっこ大使 滋賀の食担当 滋賀県庁、琵琶湖博物館他 7月～3月(全5回)  
■わたSHIGA輝く国スポ・障スポ競技者のためのデジタルブック「食べて伝える滋賀の味」制作 わたSHIGA輝く国スポ・障スポ実行委員会(滋賀県) 3月  
石井 明、久保晶路 ■わたSHIGA輝く国スポ・障スポ リハーサル大会での焼き菓子提供 平野学区自治連合会 ウカルちゃんアリーナ 7月  
■滋賀短期大学公開講座 お菓子の講座「フランスのお菓子」 滋賀短期大学 8月  
■第9回カローラフェスタ ベーカリー塾出店販売 アインズ株式会社 滋賀県希望ヶ丘文化公園 10月  
■ひらのまつり2024 ベーカリー塾出店販売 平野学区自治連合会 大津市立平野小学校 10月  
■びわ湖大津プリンスホテル ベーカリー塾ヘクセンハウス作成、展示 びわ湖大津プリンスホテル、滋賀短期大学 11月～12月  
■ケーキ教室「チーズケーキ」 大津市勤労者互助会と共催 滋賀短期大学 12月

- 濱田尚美** ■滋賀短期大学公開講座 スポーツ栄養教室「健康づくりのための食生活と運動」 滋賀短期大学 9月
- 岡田香織、依田絵理、岩崎愛理** ■滋賀短かんたんレシビ動画 9作品 滋賀短期大学HP 他 8月
- 北尾岳夫** ■滋賀県スキー連盟 総務部長 県内他 年間  
■公益財団法人 京都YMCAスキー専門委員 京都市、長野県 年間
- 久米央也** ■滋賀県総合教育センター主催 初任者研修「算数科指導の基礎・基本1」講師 滋賀県総合教育センター 6月  
■大津市教育センター主催 教職2年次研修(小学校)「授業づくりI(算数科)」講師 大津市教育センター 7月  
■甲賀市教育委員会主催 教師力アップ研修「心が動く授業の創り方～算数科の授業をもとに～」講師 甲賀市役所 7月  
■守山南中学校区人権・同和教育実践交流会保幼こぶ会公開保育 「自己発揮し、互いに認め合える子どもをめざして」講師 守山市立守山保育園 8月
- 齋藤尚志** ■大津市社会福祉審議会および同会児童福祉専門分科会委員 大津市 年間  
■全国教育研究集会第22分科会「地域における教育改革とPTA」共同研究者 東京都中央区 1月  
■兵庫県教育研究集会第22分科会「小規模・少人数校の教育」分科会共同研究者 兵庫県神戸市 11月
- 深尾秀一** ■第75回近畿高等学校家庭科教育研究大会(滋賀大会)「保育技術検定を授業に生かす」講師 大津市生涯学習センター 8月  
■守山市現任保育者専門研修 滋賀短期大学附属すみれ保育園 1月
- 柚木たまみ** ■小学校特別支援学級在籍児童に対する音楽療法(大東市教育委員会) 大東市立小学校 11月～3月  
■滋賀短期大学守山すみれ講座「音楽会を楽しもうvol.2～みんなの思い出の歌～」 滋賀短期大学附属すみれ保育園 11月  
■日本音楽療法楽器近畿支部研究誌編集委員 平成28年～  
■京都フランス歌曲協会企画委員 平成17年～
- 菅 眞佐子** ■社会福祉法人湘南学園 評議員会 6月  
■社会福祉法人南郷会 評議員会 6月  
■滋賀県社会福祉審議会児童福祉専門分科会里親審査部会 9月  
■大津市立膳所幼稚園 公開保育研究会 講師 9月
- 松井典子** ■日本乳幼児教育学会「乳幼児教育学研究」編集協力委員 日本乳幼児学会 5月～3月  
■日本音楽学会西日本支部通信26号 日本音楽学会西日本支部 3月  
■滋賀短期大学出前授業 滋賀県立大津高等学校 10月、11月

- 松村都子** ■幼稚園・認定こども園等新規採用教員研修(滋賀県教育委員会) 滋賀県総合教育センター 7月  
■滋賀県私立幼稚園・認定こども園協会研修会 草津幼稚園 12月  
■子育て支援会議(野洲市) 野洲市役所 6月、11月、2月  
■守山市ミドルリーダー研修 滋賀短期大学附属すみれ保育園 1月
- 佐々木 瞳** ■守山市子育て支援員研修 講師 滋賀短期大学附属すみれ保育園 8月
- 江見和明** ■日本消費経済学会 理事 7月～
- 沖山圭子** ■全国医師会医療秘書学院連絡協議会運営委員 4月～  
■大阪市立小中学校及び義務教育学校における欠席連絡等アプリケーションシステムのサービス提供事業者選定委員会にかかる選定委員 8月  
■日本医療福祉実務教育協会専門委員 4月～  
■松原市立第2中学校・第五中学校 進路学習面接講座 講師 10月
- 田中裕之** ■令和6年度高大連携事業 滋賀短期大学公開講座「からだと病気のしくみ～見えるとはどういうことか?～」 滋賀短期大学 8月  
■滋賀短期大学守山すみれ講座(からだと病気のしくみ～人類と感染症の歴史～) 滋賀短期大学附属すみれ保育園 9月
- 若生眞理子** ■6年目小中学校教諭研修「傾聴からコミュニケーション力を高める」講師 枚方市立教育文化センター 6月  
■第2学年キャリア教育 マナー講話 講師 大津市立打出中学校 10月
- 伊澤亮介** ■令和7年度大阪府公立高等学校特別入学者選抜等における作文等の翻訳(ベトナム語の翻訳) 大阪府教育委員会 2月
- 小山内幸治、小笠原寛夫** ■環びわ湖大学・地域コンソーシアム 大学地域連携課題解決支援事業 “大津市無形民俗文化財「大津絵踊り」の3Dデジタル化プロジェクト” 滋賀短期大学 4月～3月  
■大津市立保育園PR動画作成 保育士インタビュー 大津市立堅田保育園 2月～3月
- 小笠原寛夫** ■八幡工業高校×金田まちづくり協議会 きらめくKANEDAの夜 ～イルミネーションで地域に笑顔を～プロジェクトンマッピング指導 金田コミュニティセンター 11月
- 仲村恭子** ■障害福祉サービス事業所れもん会社での冬フェスタ出店 湘南学園 12月



【開館時間】  
通常開館日 8:45～17:00  
長期休暇中(火・木) 9:30～13:30  
月1回土曜日 9:30～13:30

【休館日】  
土曜日・日曜日・祝祭日(一部開館)  
長期休暇中(月・水・金)

\*学校行事その他の都合により変更することがあります。HPなどでご確認ください。

こんにちは。図書館には学科に関連する本はもちろん、小説、絵本、雑誌などがあり、季節やテーマに沿った本の紹介コーナーなども設置しています。卒業生の皆さんにもご利用いただけます。みなさんのご来館をお待ちしています。

～純美禮祭に参加しました!～

図書館では「英字新聞で作ってみよう」イベントを実施しました。参加された皆さんは、英字新聞で自分だけの素敵なバックやスリッパ、ブックカバーを作成されていました。



## 令和6年度卒業生の就職状況について

キャリア・サポートセンター／キャリア支援課長 八代 茂裕

令和6年度卒業生の就職決定状況は、95.9%と良好な結果でした。学科・コースにより異なりますが、採用活動は年々早期化が進み、職種によっては四年制大学生と同じタイミングで採用活動を行う企業が増えるなか、本学の学生も早期に内定を得た学生も散見されました。一般企業に就職する学生が多い生活学科やビジネスコミュニケーション学科、デジタルライフビジネス学科は、2回生後期が始まる9月末には52.3%の学生の進路が確定しました。幼児教育保育学科では、大半の学生が保育者としての就職を希望し、幸いにも多くの求人いただきました。幼児教育保育学科は2回生の秋頃に活動を開始する学生が多く、11月末には22.6%、さらに卒業までに100%の学生の進路が確定しました。公務員関係では正規職として就職した学生は全学科で7名、四年制大学（3年次編入）に進学した学生は全学科で6名でした。

令和6年度の就職・進学先は次のとおりです。

これからも私たち教職員が丸となって学生に寄り添い、学生が希望する仕事や会社に就職できるよう、引き続き全力でサポートしてまいります。

### (令和6年度) 就職・進学先

#### 〈就職先〉

※順不同、名称は会社形態・法人名称等を省略し、園・医院・屋号等の名称で掲載しています。

#### 生活学科

##### 食健康コース

###### 【栄養士関係】

ご縁会(さくら坂こども園ほか)／丹後福祉応援団／ひかり会／一富士フードサービス／エムサービス／滋賀短期大学附属すみれ保育園／シダックス／茶白山こども園／ときわ保育園／日清医療食品／富士産業／アイグラン／ジッセント・シップ／東洋食品／メフォス西日本

###### 【企業等】

しがぎん代理店／富川化成工業／ABC Cooking Studio／平和堂／滋賀トヨタ

##### 製菓・製パンコース

###### 【製菓関係】

たねやグループ／キルフェボン／グルマンマルセ／招福楼／スリールパティシエオガワ／パティスリー・ラ・ボッシュ／フロイデ／ホテルニューアワジ

###### 【企業等】

Atelier花空間／エフアイ／しがぎん代理店／しがぎんビジネスサービス／滋賀中央信用金庫／ジョリーバスタ

#### 幼児教育保育学科

##### 【公立園】

草津市／野洲市／東近江市／長浜市／高浜町 ※会計年度職員を含む

##### 【私立幼稚園】

南殿幼稚園

##### 【私立保育所】

アイグラン保育園南彦根／あしほ乳児保育園／彩葉保育園／ぎんが保育園／京進こどもえんHOPPA湖南水戸／甲南のぞみ保育園／こだま保育園／サンライズキッズ甲南保育園 甲南園／滋賀短期大学附属すみれ保育園／しみんふくし保育の家竹が丘／真愛保育園／西田原保育園／ニチキッズ大津京町保育園／はな保育／ひこねさくら保育園／ひむれ乳児保育所／HOPPA草津野村園／みらいしゃくなげ保育園／みらいみかみやま保育園／栗東くじら保育園

##### 【私立こども園】

アスク御殿浜こども園／あゆみこども園／永興藤尾こども園／唐崎キンダースクール／吉祥院こども園／金城こども園／くさつ優愛保育園モンチ／京進こどもえんHOPPA近江八幡／京進のこどもえんHOPPA石部／ご縁会／志津保育園／渋川あゆみこども園／茶白山こども園／南郷こども園／認定こども園ももの木学園／のみちこども園／ひなぎくこども園／保育所型認定こども園湖のご保育園／本福寺こども園／緑波くるみこども園／レイモンド甲賀こども園／若草くるみこども園

##### 【施設】

ヴェインテuno／放課後等デイサービス サンライズ

##### 【企業等】

ヒューマンアイズ

#### ビジネスコミュニケーション学科 (医療事務コース)

##### 【医療・医療事務関係】

近江八幡市立総合医療センター／済生会滋賀県病院／滋賀県医師協同組合／市立大津市民病院／蘇生会総合病院／長浜赤十字病院／なぎ辻病院／京都府歯科医師会／COCOKARA／マリーングループホールディングス／ミルクファーマシー／レクケア

##### 【企業等】

キョーラク／しがぎん代理店／トヨタモビリティ滋賀／はれコーポレーション／日吉

#### ビジネスコミュニケーション学科 (医療事務コース以外)・デジタルライフビジネス学科

##### 【公務員】

滋賀県／滋賀県教育委員会(事務局教育総務課)／福井県警察

##### 【企業等】

adapt retailing／アーバンホテルシステム／一園興産／岩本繊維／大津板紙／大槻シール印刷／関西保温工業／北びわこ農業協同組合／協同／クスのアオキ／グリーン近江農業協同組合／サービス&セキュリティ／ジェイアール西日本ホテル開発／しがぎんビジネスサービス／滋賀ビジネスマシン／招福楼／スズキ自販滋賀／西和不動産／全日警／TBCグループ／トヨタモビリティ滋賀／トヨタレンタリース滋賀／日本情報産業／日本郵便／ネットトヨタびわこ／バル／東びわこ農業協同組合／平和堂／ホテル北野屋／マーキュリー／美濃吉／UTコネクト／利高工業

#### 〈進学先〉

※順不同

##### 〈生活学科 食健康コース〉

京都橘大学総合心理学部総合心理学科通信教育課程

〈生活学科 製菓・製パンコース〉京都産業大学経営学部マネジメント学科

##### 〈幼児教育保育学科〉

龍谷大学社会学部現代福祉学科

##### 〈ビジネスコミュニケーション学科〉

大阪経済法科大学経済学部経済学科／東京経済大学経営学部流通マーケティング学科／大阪産業大学経済学部

#### ホームカミングデー開催のご連絡

今年度、生活学科・幼児教育保育学科のホームカミングデーを右記のとおり開催する運びとなりました。皆さまどうぞお問い合わせの上、ぜひご出席くださいますようお願い申し上げます。出席希望の方は、右記のQRコードより回答をお願いします。

ビジネスコミュニケーション学科・デジタルライフビジネス学科のホームカミングデーは、去る6月8日に開催いたしました。来年度もお待ちしております。

##### 【生活学科】

日時:8月23日(土)14:00～

場所:滋賀短期大学 試食室(3号館1F)

回答期限:7月31日(木)まで



##### 【幼児教育学科】

日時:12月13日(土)13:30～

場所:滋賀短期大学211教室(子育て支援室)

回答期限:11月20日(木)まで



# 学校法人純美禮学園の令和6年度決算・財務状況報告について

学校法人純美禮学園の令和6年度決算について、公認会計士の監査、学園監事の監査、理事会・評議員会の承認を経て、確定いたしましたのでご報告いたします。

事業活動収支計算書は、当該会計年度の各事業活動における収支の内容及び均衡の状態を明らかにしています。

貸借対照表は、本学園の年度末の資産状況を明らかにするものです。

## 令和6年度決算報告について

### 事業活動収支計算書

令和6年4月1日から令和7年3月31日まで (単位:千円)

教育活動	部	科 目	決 算
		事業活動収入の部	学生生徒等納付金
		手数料	26,657
		寄附金	33,008
		経常費等補助金	585,424
		付随事業収入	17,225
		雑収入	33,685
		教育活動収入計	1,674,158
	事業活動支出の部	科 目	決 算
		人件費	1,015,774
		内:退職給与引当	7,621
		教育研究経費	503,024
		内:減価償却	182,375
		管理経費	138,509
		内:減価償却	16,767
		徴収不能額等	1,530
		教育活動支出計	1,658,837
		教育活動収支差額	15,321
教育活動外	収入の部	科 目	決 算
		受取利息・配当金	63,683
		その他の教育活動外収入	0
		教育活動外収入計	63,683
教育活動外	支出の部	科 目	決 算
		借入金等利息	3,489
		その他の教育活動外支出	0
		教育活動外支出計	3,489
		教育活動外収支差額	60,194
		経常収支差額	75,516
特別	収入の部	科 目	決 算
		資産売却差額	15,550
		その他の特別収入	3,665
		特別収入計	19,215
特別	支出の部	科 目	決 算
		資産処分差額	1
		内:機器備品除却損	1
		その他の特別支出	3,455
		特別支出計	3,456
		特別収支差額	15,759
		基本金組入前当年度収支差額	91,275
		基本金組入額合計	△ 68,537
		当年度収支差額	22,738
		前年度繰越収支差額	△ 1,945,372
		基本金取崩額	55,788
		翌年度繰越収支差額	△ 1,866,846

(参考)

事業活動収入計	1,757,056
事業活動支出計	1,665,781

### 貸借対照表

令和7年3月31日 (単位:千円)

科 目	本年度末
固定資産	( 5,671,612 )
有形固定資産	3,817,106
土地	369,348
建物	2,640,857
構築物	216,623
教育研究用機器備品	274,936
管理用機器備品	23,838
図書	274,687
車両	16,816
特定資産	1,852,354
第3号基本金引当特定資産	396,300
退職給与引当特定資産	118,452
減価償却引当特定資産	1,335,457
保育施設整備引当特定資産	2,145
その他の固定資産	2,152
施設利用権	1,406
電話加入権	646
保証金	100
流動資産	( 634,462 )
現金預金	582,228
未収入金	51,772
貯蔵品	34
前払金	428
資産の部合計	6,306,074
固定負債	( 798,564 )
長期借入金	555,500
退職給与引当金	243,064
流動負債	( 268,345 )
短期借入金	44,440
未払金	40,904
前受金	166,774
預り金	16,227
負債の部合計	1,066,909
基本金	( 7,106,011 )
第1号基本金	6,592,566
第2号基本金	2,145
第3号基本金	396,300
第4号基本金	115,000
繰越収支差額	( △1,866,846 )
翌年度繰越収支差額	△1,866,846
純資産の部合計	5,239,165
負債及び純資産の部合計	6,306,074

## ■ 私の青春時代

デジタルライフビジネス学科 教授 中平 真由巳

私が小口真由巳であったころ。食文化と発酵を学びたいという私の思いと、父の「日本の中心を経験しなさい」との考えから大学は東京を目指した。四国の田舎から都会へ行く女子生徒はまだ少なかったが、英語の教師である母も先進的な考えを持っていた。

その時代の家政学部には食文化系の研究室はおろか授業も存在せず落胆は大きかったが、栄養士と家庭科、保健科の免許の取得、登山サークルやアルバイトなど充実した学生時代を過ごした。卒論には「魚醤とその利用」をテーマとし、食文化に興味を持つ友人と共に懸命に取り組んだ。彼女は博士を取得して母校の教員となり、今も互いに励まし合うよき仲間である。

結婚後に食文化系の大学院を求めたが、結局、微生物の研究室へ入学した。不本意ではあったものの、後にそのご縁で滋賀短期大学へ導かれることになる。院生生活は夫の留学のために2年間をアメリカで過ごし、僅かながら英語力を培うことになる。

滋賀短期大学で駆け出しの講師時代に地域の食と発酵食品ふなずしとの心躍る出会いがあった。何としても作れるようになりたい！滋賀の食事文化研究会や当時の「伝統食実習」の小島先生から学び吸収した。

娘たちが成長した今、「気候風土と食」に呼び寄せられるように、多様な発酵食品が存在するラオス、タイ、フィリピン、ネパールなどの伝統的な食や暮らしが残る村々を訪問して学ぶ。ウズベキスタン、モンゴル、インド、ペルー、ザンビアなど他の食文化圏へも足を進めた。これまでのすべてが繋がって活きる、何と幸せな日々であろう。青春の旅は続く。



▲大学時代の友人と



▲サハラ砂漠の入り口ドゥーズで

### 学科再編および教育環境整備に伴うOA教室の更新について

本学では、2025年度より4学科から2学科への大規模な学科再編を実施いたしました。それに伴い、新たな教育課程を策定し、その教育課程に対応したOA教室の更新を行いました。

また、本学では令和3年度より、学生にPCの必携制度を導入しております。しかしながら、BYOD(Bring Your Own Device:自分の端末を持ち込む)によるPCの使用頻度は、当初はあまり高くありませんでした。そのため、必携PCの活用を促進することを目的として、BYOD対応のOA教室の改修を実施いたしました。

具体的には、新しいカリキュラムへの対応とBYODの推進を図るため、従来型のデスクトップPCを設置したOA教室1室の更新に加え、BYOD対応教室2室のリニューアルを行いました。



### 人事異動（教員の退職・採用等）

#### 退職（令和7年3月31日付）

生活学科	特別教授	清水 まゆみ
生活学科	特任助教	岡田 香織
幼児教育保育学科	教授	久米 央也
幼児教育保育学科	特別教授	深尾 秀一
ビジネスコミュニケーション学科	特別教授	小山内 幸治
ビジネスコミュニケーション学科	特別准教諭	若生 眞理子

#### 新規採用（令和7年4月1日付）

幼児教育保育学科	准教授	鷗川 陽子
デジタルライフビジネス学科	特任講師	松本 善樹
デジタルライフビジネス学科	特任助手	高畑 千尋

### 「滋賀短期大学学報」読者アンケート

滋賀短期大学学報について、誌面に対するみなさまからのご意見・ご感想をお寄せいただき、より良い冊子、WEB発信とするため、読者アンケートを行っています。

アンケートにお答えいただいた方のうち、ご希望の方には抽選で「滋賀短期大学グッズ」をお贈りいたしますので、ぜひご協力ください。

<https://forms.gle/nm4gubpntoKWpZir5>



↑アンケートはこちら

### 卒業生の皆様へ

#### 【卒業生ネットワーク 情報配信先登録のお願い】

2025年5月から、卒業生の皆様に情報配信先を通じて、短大情報を発信させていただくことになりました。今後、大学行事などに関する案内をお届けしたり、将来は卒業生と大学を結ぶネットワークづくりを目指そうと考えています。そのため、全ての卒業生の皆様にご連絡先の登録をお願いし、ご協力の程、何卒よろしくお願いたします。



#### 【ご登録方法】

卒業生・情報配信先登録Formよりご連絡先情報をご登録ください。

卒業生の皆様とのつながりを大切に、短大情報を発信・案内してまいりますと考えております。是非、ご登録いただきますようお願い申し上げます。今後とも、皆様とともに歩んでいけますことを楽しみにしております！

学報は年1回発行です。最新の学校情報や行事、ニュースはHPからご覧ください。

